



「日報」で好循環サイクル

高松市立国分寺北部小学校

問題点…大規模校のため、周知事項が伝わりにくい！
 終礼を増やすと、子どもと向き合う時間が確保できない！
 終礼をしても出張や課外練習の指導で全員は揃わない！

そこで…日直の一人が、17:00 までに各担当が書いておいた周知事項や各種案内、通達事項などを、翌日の校内外の行事とともに「日報」というかたちで印刷し、個人のレターケースに入れるようにした。

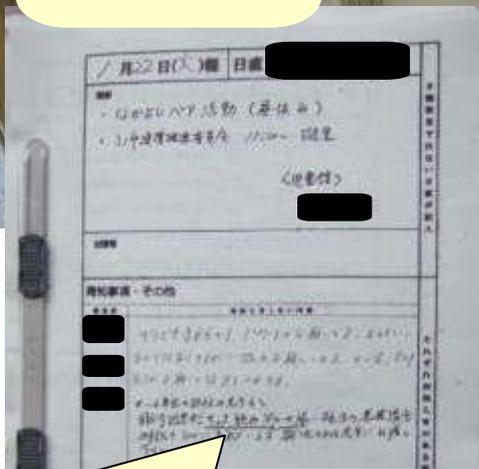


元原稿は綴じておき、後から確認できるように。



表用と裏用の二種類の設置場所。もちろん再利用紙。

カードは、クラスや担当をはっておき、個人名は差し込み式に。



周知事項だけでなく、裏面を利用して案内や啓発・指導的な内容も。

すると…毎朝出勤印を押す時に、「日報」を取り出すことで、その日の校内行事や出張する職員を確認するとともに、種々の周知事項を堅実に把握する職員が多くなってきた。

終礼は週1回(月曜 16:20~)に限られ、他の曜日(研修日を除く)は、個別指導や課外練習の指導に確実に充てられるようになった。

さらに…職員会議・現職教育の資料や担当宛の公文書も入れるようにすることで、確実な配布が定着することになった。